令和5年度の重点課題

〇体を動かすことがやや嫌い、嫌いと答える児童の割合を5%以下にする。 〇重点課題に挙げている種目の平均値を6/12に(50%)以上にする。 〇全学年男女別の種目の平均値を令和5年度の37/96(39%)から 58/96(60%)にする。

上記の課題を受けて具体的に 取り組んだ事項

〇週に | 回体育朝会を実施し、「筋力向上」「跳躍力向上」「走力向上」の3つを狙って取組を行った。また、| つ | つの種目に達成レベルを設け、児童が目標をもって取り組むことができるようにした。

〇保健体育委員会と連携を図り、月に1度体育朝会の時間に、3学年合同での運動遊びを行った。

〇各学年で、定期的に大休憩や昼休憩を 使って、運動遊びを実施し、実施した。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.33	16.44	34.67	42.78	58.11	9.58	139.33	15.67	51.89	第5学年	19.56	21.78	43.22	43.33	47.56	9.20	147.89	14.67	62.33

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

1 -																				
	男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
H	第5学年	17.33	16.44	34.67	42.78	58.11	9.58	139.33	15.67	51.89	第5学年	19.56	21.78	43.22	43.33	47.56	9.20	147.89	14.67	62.33
11/2																				

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

Γ.										
	男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
١.	第5学年	66.67	33.33	0.00	0.00	第5学年	44.44	55.56	0.00	0.00

学校独自の意識調査

 			~	.,, , w.e.	1-5×11/-1 1-1		
	第1学年(%)	第2学年(%)	第3学年(%)	第4学年(%)	第5学年(%)	第6学年(%)	全体(%)
好きだ	88	80	94	70	78	64	79
やや好きだ	12	20	6	20	22	9	15
やや嫌いだ	0	0	0	10	0	18	4

運動に対する音識調査

重点課題

情意面での課題

- ○第4学年において、学校独自の意識調査では、運動に対する否定 的評価が10%。
- 〇第6学年において、学校独自の意識調査では、運動に対する否定的評価が27%。

主灬卟咫

体力面での課題

- ○第5学年男子において、令和5年度の県平均値かつ令和4年度の全国平均より低い種目が4/8(50%)。
- ○学校全体で、「上体起こし」において、令和元年度の県平均値かつ全国平均値未満が10/12(83%)。
- 〇学校全体で、「立ち幅跳び」において、令和元年度の県平均値かつ全国 平均値未満が9/12(75%)。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ○年間を通して、体操等の準備運動に代えて、ACP(アクティブチャイルドプログラム)を導入に取り入れる。
 主運動につながるような運動遊びを選択し、様々な動きを楽しみながら行う中で、体を温めていくようにする。
 例)体じゃんけん、ねことねずみ等
- ○体操の後に、V字バランスをする時間を設ける。
- ○「やってみたい!」を育む運動の場の充実。

体育の授業以外で行う取組内容

- ○体育朝会の中で、楽しく体を動かすことができる運動遊びの実施。
- ○全体の課題を踏まえた体育朝会の実施。
- ・瞬発力、跳躍力、筋力、巧緻性の向上を目指した体つくり運動。持久力向上を目指した3分間走。
- ○保健体育委員会と連携を取り、休み時間等に楽しみながら取り組むことができる運動を検討し、実施していく
- ○全児童を対象とした、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツに対する意識調査を行う。

〇体を動かすことがやや嫌い、嫌いと答える児童の割合を5%未満にする。

令和7年度の 重点目標値

○重点課題に挙げている種目 (上体起こし、立ち幅跳び)において、令和元年度の県平均値かつ全国平均値以上のものを6/12(50%)以上にする。

〇全学年男女別の種目において、令和元年度の県平均値かつ全国平均値以上のものを、令和6年度の37/96 (39%) から 48/96(50%)にする。